

# 「学年だより」の文内容の 重要度の認識に関する調査

——— 教員・保護者・外国人留学生を対象として ———

和久 仁美(和久語学学習塾)・遠藤 直子(広島工業大学)

## CONTENTS

- 1 研究背景・研究目的・調査方法
- 2 調査結果と考察
- 3 結論と今後の展望

2

1

### PART ONE

- ・ 研究背景
- ・ 研究目的
- ・ 調査方法

2

3

3

- 紙媒体の学校通信文は小学校と保護者の大切なコミュニケーションツールであり、様々なものがある。
- 増加・分散化傾向にある外国人保護者(文部科学省2022:13)にとって理解するのが困難であるということが指摘されてきた(地引2013、李2017等)。
- 学校通信文の日本語の研究は語彙中心(李2017)である。

## 研究背景

4

- 本研究では、書き手の意図が読み手に十分伝わっているかどうかを確認する
- 書き手の意図を正確に伝えることを妨げているものは、語彙の他に何かあるのを探る。

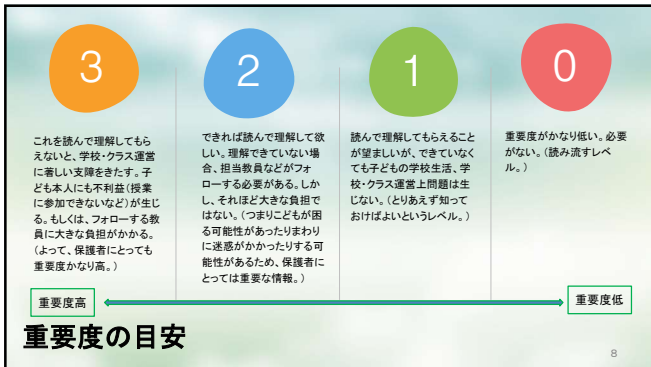
## 研究目的

5

- 『学校お便りコーパス』(研究代表者:李曉燕 <http://lixiaoyan.jp/database/>)のうち、神戸市の公立小学校の1年生の4月分の『学年だより』を使用し、そこに書かれている通信文(98文)を一文ごとに分ける。
- 調査対象者に、通信文の文単位の情報内容の重要度を4段階で評価するというパイロット調査を実施。
- 留学生の調査結果については、フォローアップインタビューを行い、文章の解釈の確認及びその重要度を付与した理由などの聞き取りを行った。

## 調査方法

6



● 中上級レベルの留学生、NNS学1(モンゴル)とNNS学2(台湾)にグループインタビューの形で実施。  
 一来日間もない外国人保護者は、留学生同様、日本の学校文化への理解に乏しい。そのため、留学生が通信文を理解するうえで問題点が参考になると考えたからである。

● 通信文の難しかったところ、意味のわからない語などを確認しながら、留学生の評価がNS教などの評価と異なる文例を中心にインタビューを実施。

**フォローアップインタビュー**  
 (45分/2023年1月実施)

● 日本語母語話者の小学校教員2名(以下NS教1~2)、

● 日本語母語話者の小学校保護者及び経験者3名(NS保1~3)

● 中上級レベルの大学留学生2名(NNS学1~2)に、0から3までの4段階で重要度の評価を依頼した

**調査対象** (調査期間は2022年7月~2023年1月)

1 2 PART TWO 調査結果と考察 3

**調査結果1と考察** 【重要度評価】

	NNS学1	NNS学2	NS1	NS2	NS3	NS教員A	NS教員B
【持ち物】①ここの教科書	3	3	3	3	3	3	3
②せいかつの教科書	3	3	3	3	3	3	3
③とじの本(手きり)	3	3	3	3	3	3	3

授業に関する持ち物については、NNS・NS・教員の全員が重要度3をつけていた。

**調査結果2と考察** 【重要度評価】

	NNS学1	NNS学2	NS1	NS2	NS3	NS教員A	NS教員B
当番のときは必ずマスクを持たせてください。	2	2	3	3	3	3	3
☆さんすらんの中にも積み木がない方は、単品(110円)で販売いたしますのでお知らせください。	2	1	3	3	3	3	3
・12日(金)から給食が始まります。	2	1	3	3	3	3	3

NSとNNSでは評価が分かれた。NNSは1~2であるのに対し、NSは全員3であった。  
 →学校文化への理解不足が原因の一つとして考えられる。

### 調査結果3と考察 【重要度評価】

	NNS学1	NNS学2	NS1	NS2	NS3	NS教員A	NS教員B
ご家庭で読んで、次の圖書の時間に必ず手さげに入れて、持ってきてください。	3	2	3	1	3	3	3
購入希望の方は配布しました封筒に代金（一枚550円）を入れて、お持ちください。	1	2	3	1	2	3	3
（引率のもと集団下校）	2	3	2	1	3	3	3

教員が最重要と位置付けているにも関わらず、NS保護者の中で、重要度が割れている。  
 →保護者それぞれの背景により、文章の解釈が異なる可能性があるのではないか。

13

### 調査結果4と考察 【重要度評価】

	NNS学1	NNS学2	NS1	NS2	NS3	NS教員A	NS教員B
図書で記入もれがないようにお書きください。	2	2	1	1	3	3	3
【給食】当番は1ヶ月交代で順番にします。	2	2	1	1	2	3	3
4月（の給食当番）は出席番号1～16番の人、5月は17～32番の人です。	2	3	1	1	2	3	3
一度必ず家に帰り、ランドセルを置いてから出かけるという約束をご家庭でも確認をお願いします。	2	1	2	1	1	3	3

NS教が3と評価したのに対して、多くのNS保・NNS学が1~2と評価していた。  
 →「内容が伝わっていないこと」だけではなく、「情報の重要性が伝わっていない」ということであり、この問題はNSの保護者に対しても十分起こりうる。

14

### フォローアップインタビュー 表の結果についてどのように解釈したか

15

### 調査結果5考察 【留学生（NNS学1・2）へのフォローアップインタビュー1】

- ・NNS学1: 「学級懇談会」等の語の意味が分からず。  
 : 「給食当番」については意味を理解していたが、その仕事の内容を、配膳ではなく、掃除だと考えていた。
- ・NNS学2: 学校文化に関わる語の意味は分からなくても、日時を含む文は重要な情報と判断し、高い重要度を付与していた。  
 →重要度の高い情報であることがNNSに正確に伝われば、語彙リストの助けを借りながら、効率よく読み進めることもできるのではないか。

16

### 調査結果6と考察 【留学生（NNS学1・2）へのフォローアップインタビュー2】

	NNS学1	NNS学2	NS1	NS2	NS3	NS教員A	NS教員B
一度必ず家に帰り、ランドセルを置いてから出かけるという約束をご家庭でも確認をお願いします。	2	1	2	1	1	3	3

左記の文章をどのように解釈をしたか確認  
 ・NNS学1は「言葉自体わからない…」  
 ・NNS学2は「子供がちゃんと家に帰っているか確認してください」と答えた。  
 →留学生には婉曲表現「確認をお願いします」の文意をくみ取るのが難しかったようである。

調査結果4  
 「一度必ず家に帰り、ランドセルを置いてから出かけるという約束をご家庭でも確認をお願いします。」

17

### PART THREE 結論と今後の展望

18

### 結論と今後の展望1

調査結果3より

	NNS#1	NNS#	NS1	NS2	NS3	NS教員A	NS教員B
ご家庭で読んで、次の読書の時間必ず手取りに入れて、持ってきてください。		3	2	3	1	3	3
購入希望の方は配布しました封筒に代金（一冊550円）を入れて、お持ちください。	1	2	3	1	2	3	3
(別冊のもと集団下校)	2	3	2	1	3	3	3

・学校文化への理解はNNSだけでなく、NSにとっても重要である。NSとNNSの認識の差だけでなく、被調査者の背景等の要因も結果に関係する可能性がある。

→ 日本国内でも地域により学校文化に差がある可能性があり、海外の小学校を経験したNS保護者であれば、NNSと同じ問題を抱えている可能性もある。また、保護者の子どもが第1子か、それ以降かにも関係する可能性もある。被調査者の経験は学校通信文の理解に関係しているのではないかと考える。

そして今後は、NSにもフォローアップインタビューを実施し、それぞれの背景と解釈にどのような関連が見られるか調査継続したいと考える。

19

### 結論と今後の展望2①

	NNS#1	NNS#2	NS1	NS2	NS3	NS教員A	NS教員B
簡単に記入してもらえないようにお書きください。	2	2	1	1	3	3	3
(注) 得意は1ヶ月交代で報告します。	2	2	1	1	2	3	3
4月（読書発表）は出席簿等と一緒に提出し、5月は17-18週目まで。	2	3	1	1	2	3	3
一度必ず事前に読み、ランドセルを置いてから送られるという約束をご家庭でも確認をお願いします。	2	1	2	1	1	3	3

調査結果4については、NNS・NS問わず、教員以外の重要度が低いことを考えると、重要であるという教員側の意図が読み手に十分伝わっていない可能性がある。

→ 遠藤(2022)は、学校通信文の間接的な配慮表現の使用が、指示内容などの表現意図をわかりにくくする可能性について指摘。

- ・どのような語彙を用いるかということと同様にどのような表現を用いて相手に伝えるかも重要なのではないか。
- ・書き手の意図を正確に伝えるためには、表現方法について検討する必要がある。NS・NNSに関係なく、婉曲表現は意図が正確に伝わりにくい。教員が重要だと考える情報は、簡潔明瞭な表現で伝えられるべきであろう。

20

### 結論と展望2②

・「簡潔明瞭な表現」とは何かについても考えていきたい。

→ 言葉の表現・フォント・レイアウト(位置・フォントポイント等)をNSやNNSに確認してもらい、どのように読み取るかアンケート調査やインタビューを実施していきたい。

・外国人児童生徒のいる地域は、分散化傾向にあるが、外国人集住地域にいるNNS保護者とそうでないNNS保護者で、学校だよりを読むためのスキルや状況に違いはあるかを調査したい。

21

### 参考文献

遠藤直子(2022)『「学年だより」の「行動展開表現」の「表現意図」の実態調査』2022年待遇コミュニケーション学会秋季大会第37回

地引愛(2013)「小学校配布物から情報を得るために必要な語彙の探索：使用頻度の高い語彙に注目して」学習院大学国語国文学会誌 56 pp.92-76

李曉燕(2017)「外国人保護者に対する日本語支援—小学校配布プリントの特徴および『学校カルチャー語彙』の分析を通じて—」『地域社会統合科学』24(2) pp.1-12

文部科学省(2022)「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(令和3年度)」  
[https://www.mext.go.jp/content/20221017-mxt\\_kyokoku-000025305\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221017-mxt_kyokoku-000025305_02.pdf) p.13 (2023/02/18閲覧)

22

